



不妊治療を受けられる方へ

独立行政法人地域医療機能推進機構

群馬中央病院 産婦人科

不妊でお悩みのご夫婦へ

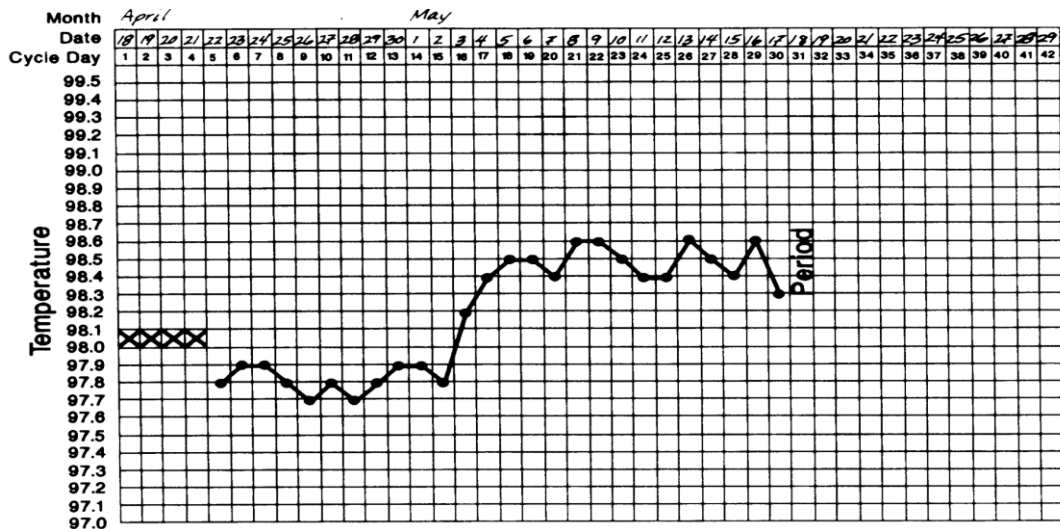
現在約10%のご夫婦が不妊症であると推定されています。また、現在日本で出生する子供の約2%が体外受精によって妊娠した子供です。このように多くの方が不妊に悩み、治療を受け、妊娠出産に漕ぎ着けています。当院は生殖医療専門医、不妊専門看護師揃い、皆さんの不妊治療からはじまり、総合病院のメリットを生かして、出産、児のケアまでお世話することができます。



不妊症治療で大事なことは、まず不妊原因を徹底的に調べ、その原因に対して最適な治療をおこなうことが近道です。そのために、初診の患者さんには、不妊原因検査のためまず内診、超音波断層法による子宮卵巣形態の確認を行います。この段階で子宮筋腫や卵巣嚢腫が見つかった場合、MRIなどの精密検査を行います。診断によっては、不妊治療の前に手術をおすすめする場合も有ります。

ご面倒でも毎朝基礎体温をつけていただきます。基礎体温は検査、治療のための大事な羅針盤です。頑張ってください。

基礎体温表をみながら、月経周期に従い、以下の各検査をして頂きます。



基礎体温表

1) 月経2-5日目に行う検査

ホルモン検査、その他の血液検査 (空腹時採血)

項目：FSH、LH、PRL、TSH、エストラジオール、テストステロン、インスリン、血糖、凝固第XII因子、抗フォスファチジルエタノールアミ抗体、抗クラミジア・トラコマティス抗体価検査

AMH (抗ミュラー管ホルモン)・・・卵巣年齢がわかります。

排卵に関係するホルモンや耐糖能検査などを行います。



イン

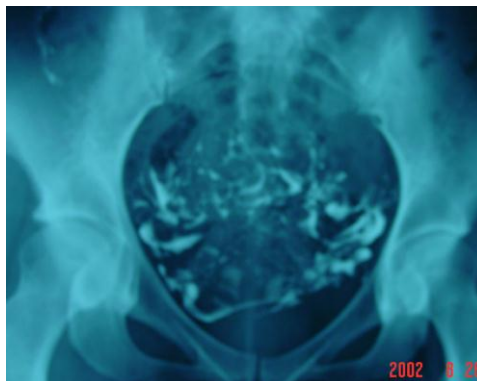
2) 月経終了後から排卵期の間に行う検査

子宮卵管造影

レントゲン室にて子宮内にカテーテルを挿入し、透視をしながら造影剤を注入し、子宮の内腔の形態、卵管の通過性、腹腔内癒着を診断します、翌日の単純撮影とセットです。



子宮卵管造影



翌日の拡散像

3) 排卵期に行う検査

ヒューナー検査 (PCT)

排卵日付近で受診の前夜か当日朝に性交を行い受診していただきます。頸管粘液を採取し、顕微鏡で頸管粘液内の精子の有無や運動率を調べます。

4) 高温相 7 日目に行う検査

ホルモン検査

胚の着床時期である高温期（黄体期）のプロゲステロンやエストロゲンを測定します。数値が低ければ、黄体機能不全と診断します。

5) 夫の精液検査

精液をマスターベーションによって採取いただき、射精後 30 分程度の段階で、精子濃度、運動率、奇形率などを算定します。数回行う場合も有ります。

男性因子の検査: 夫の精子が極端に少ない場合や運動率が悪い場合などを男性因子と呼びますが、この場合、夫のホルモン検査を行います。

6) 場合によっては腹腔鏡検査、手術

当院では日本内視鏡外科学会技術認定医が腹腔鏡手術を積極的に行っています。



不妊治療

① タイミング指導：

基礎体温表を参考にしながら、頸管粘液量の測定、性状の検査、経膈超音波による卵胞径の測定、子宮内膜厚測定、性状の観察などで排卵日を推定し、タイミングを図る方法です。

排卵日では HCG（プレグニールを用いる場合もあります）

頸管粘液：排卵日には 400 μ l 吸引される。牽糸性増大、乾燥により羊歯状結晶形成

卵胞径：排卵日には 20mm になります。

内膜：排卵前には木の葉型、排卵後は高輝度

② COS：調節卵巣刺激：

排卵障害がある場合は第一選択となります。タイミング法からステップアップした場合自然排卵があっても、内分泌環境を整え、排卵が確実に行われるために用います。OHSS（卵巣過剰刺激症候群）の可能性があり、注意を要します。

シクロフェニール(セキソビット)／クロミフェン(クロミッド)療法

月経第5日目より5日間内服

ゴナドトロピン療法 hMG、pFSH、hCG を用いる方法

投与方法 標準的方法 月経第3から5日目から150単位を連日筋注、

少量漸増法 75単位スタート7日間で11mmを越えないときは

37.5単位増量18mmでhCG 5000単位に切り替え

③ 腹腔鏡、大量通水：

臍から、細長い内視鏡を挿入し、子宮や卵巣周囲を観察し、癒着などがあれば、その場で剥離する方法です。同時に大量の生理食塩水で通水を行い、卵管通過性の評価を行い、卵管通過性の改善を期すこともできます。

多のう胞性卵巣に対して多孔術を行い、排卵障害を解消することもできます。

子宮内膜症のある場合は、内膜症の組織を電気メスで焼灼したり、チョコレート嚢腫を切除したりすることもできます。

④ 人工授精(AIH)

人工授精とは、排卵日にあわせて採取した配偶者(夫)の精液を濃縮、洗浄し、子宮内に注入する方法です。

⑤ 体外受精-胚移植

体外受精とは成熟した卵子を卵巣内の卵胞から体外に取り出し、体外で卵子と精子を受精させ、その受精卵(胚)を子宮の中に戻す(胚移植)方法です。精子を試験管内で卵子と一緒にして受精させるconventional法と、顕微鏡で見ながら精子を卵子内に注入する顕微授精法(ICSI)があります。また、胚移植して残った胚を凍結することもできます。

独立行政法人地域医療機能推進機構

群馬中央病院 産婦人科

群馬県前橋市紅雲町

TEL027-221-8165